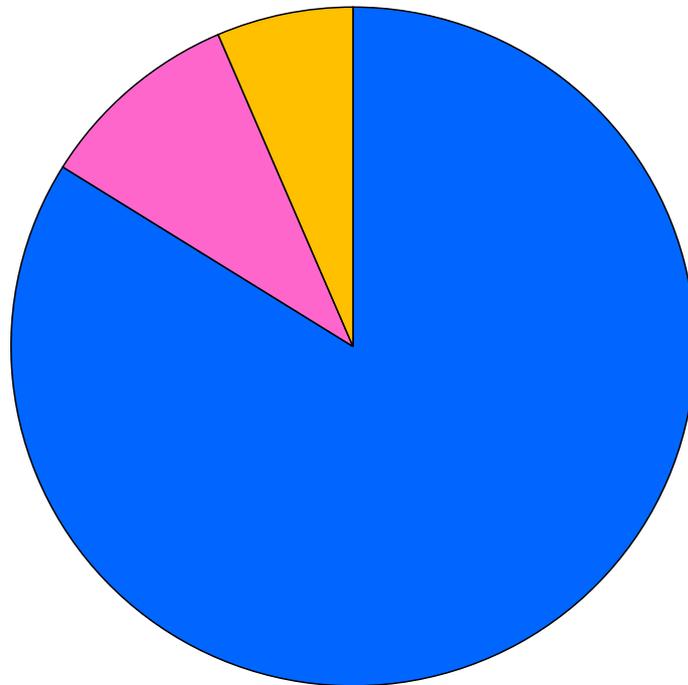


【参加対象者限定】第4回教育のデジタル化研究会 属性回答集計

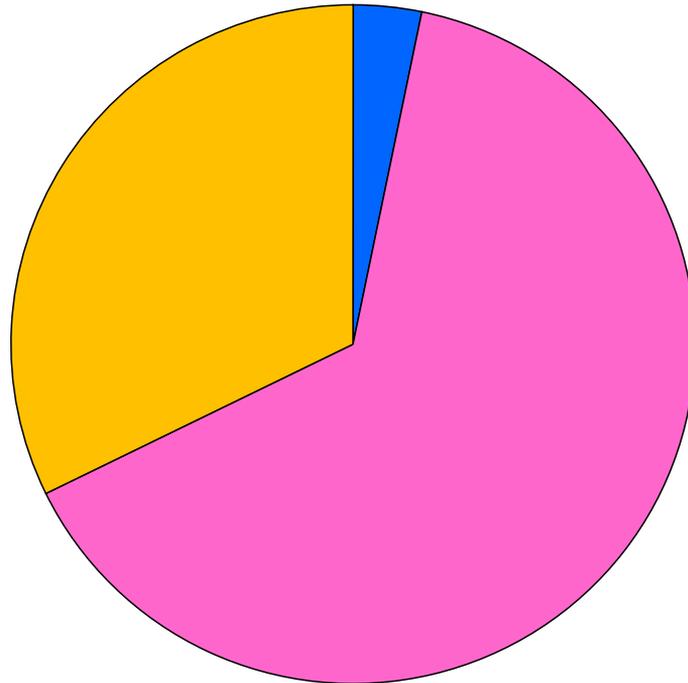
【属性】性別

No	回答	人数	%
1	男性	26	84
2	女性	3	10
3	性別無回答	2	6
合計		31	



【属性】年代

No	回答	人数	%
1	アソシエイト（～34歳）	1	3
2	リーダー（35～59歳）	20	65
3	シニア（60歳～）	10	32
合計		31	



質問1 「DPPの課題と今後の方向性」について、ご意見をお聞かせください。

【自由記述】

- ・ ユーザの意見をちゃんと聞いて改善するという姿勢は素晴らしいと思います。
 - ・ 事例をどんどん聞きたい
 - ・ 定量的な効果を明らかにした事例を期待しています
 - ・ 設問受付開始、終了のデータから導かれるデータ分析に興味があります。
 - ・ まず、何処でも良いので授業に使って見るのが第一だと思います。無料でも良いので。
 - ・ たいへんですが、よろしく願いいたします
 - ・ 学校現場への広報と企業内教育への導入方法
 - ・ アドリブ質問作成や質問からの引用、裏での作業を見せないなど、便利だけど運用が難しくなる為、使う側も積極的に使って体で覚えなければと思いました。また新機能追加により新たなバグが出ない気になります、特に学生からの質問を設問引用は禁止記号が含まれないかなど
 - ・ 会員登録から始まる、準備フェーズの簡易化、時間短縮が第一、そして、多角的な活用事例の蓄積が第二だと考えます。
 - ・ webで他会場をつないでの講義での活用ができそう。
 - ・ あまり凝りすぎない方が使い勝手が良いのかと思う一方で、アニメーションは使いたいです。
 - ・ 実際にやってみなければ、その効果は実感できないなと思います。今後の利用例を期待します。
 - ・ これからも大変です。
 - ・ 具体的な活用事例をたくさん紹介していただきたい。
 - ・ すべての課題に対処するには、難しいと感じたが、aiを組み込んでするのは面白いと思う。
 - ・ 活動実績を積み上げることが大事だと思います
 - ・ より使いやすくなる方向性が見えてきました。
- 講師一人でもどこまでできるか、より使いやすい開発を進めていきましょう。
- ・ 講師側と受講側の両面に立ってもう少し検討する必要があると思います

・DPPの目指す方向が見えてきたように思う。 有意義なので、できれば毎月やっていただきたい。

・課題は、世の中への周知でしょうか。また、受講者の管理をするLMSと組み合わせたものと、管理を必要としない、その場で終了するDPPがあってもいいのかなと思います。

・様々な要望が上がっているが、優先順位付けが重要と思います。

・機能の開発において、開発の可否、開発の順番を決めていくのが難しいと感じた。

・もう少し生徒がとっつきやすいUIにして欲しい

・長岡先生の将来イメージのお話までうかがうことで、課題と期待がへの理解が深まりました。それぞれ仕事も立場も異なるため使おうとしている場面のイメージに大差があると思わ、先生の解説は有益でした。

・オンデマンドコンテンツ、仕事力向上ライブラリも双方向参加型にしたい意向がありましたが、常にチェックしている管理人が必要。また視聴期限、みたいのを設けて期限を切らないと無理なのかと。でないと、質問しても2.3日チェックして反応がないともう見なくなること間違いなし。

・活用事例を増やし、その中から使い勝手を良くしていく事も課題の一つでは？

・初めてLive配信に参加しました。まだDPPを試用して数ヶ月で、具体的に意見が出来る状況ではありません。

質問2 永岡先生の「DPP開発の理念構築：“Two Way or Go Away”」を聞いてあなたはどのように感じましたか。

【自由記述】

- ・本筋の話ではないですが、micro:bitというものを初めて知りました。自分の子供で試してみたいと思います。
- ・う～む
- ・先生の資料の電子ファイルを頂きたい。
- ・一方通行の講義から、講義者がファシリテーターとなる時代、というのがとても興味深かったです。また、無電柱化は是非早く進めてほしい。。
- ・先生の授業を受けたいと思いました！
- ・双方向の授業をさらにすすめていきます。
- ・覚えるのではなく自分で考えさせる授業の大切さ
- ・帰らされないよう、受講する側もただ受けるのではなく、気を抜かず受講出来れば良いなと思いました
- ・ゴロがよく覚えやすい事が大事で、馴染めると思います。
- ・コミュニケーションが苦手な人が多い世代と感ずるので、どのような形であれ、やりとりが実感できることが大事だと思うので、言い得ていると感じた。
- ・良いと思います。永岡先生のお話が面白かったです。
- ・Dppを使った双方向型学習のメリットがよく分かりました。
- ・大変参考になりました。が、数式は難し過ぎました。
- ・学生数の限界値が120人と聞いて、それ以上の人数をさばく場合はどうするのかと思いました。
- ・学生を如何にしてDPPに向かせられるかが大事だと感じた。
- ・賛成です。今はすでにそうなりつつあるとも思います
- ・これからの講師は、ファシリテータとして受講者の意見を取り入れ総合的に指導を行わなくてはならない。日本の文化を変える気持ちで、恐れず進めていきたいですね。
- ・とても面白く、聞き入ってしまった 日本が取り残されるのではないかと心配
- ・ティチャーからファシリテーターへ、とても重要だと思います。文科省も参加したらと思う。
- ・講義を受ける側からすると、退屈でない授業のほうが後々の知識として残ると思います。講師はファシリテーターであるべき、その通りと思いました。
- ・勉学だけでなくスポーツ教育においても双方向の指導が大切だと思います。

・自分が学生の頃の大学と今の大学との違いが良く分かりました。
当時の講義/教育は一方通行でした。大学の先生自身もこれまでとは違う考えを持ち、DPPのようなツールを駆使することで教育レベルも上がっていくことが期待できると思います。

・学生の頃、DPPの授業があったら、もう少し勉強したいかも...

・DPPアナリティクスでの研究結果を利用して講師のサポートツールを充実させたい

・教育と研究はバランスが大事というようにも聞こえました。ただ、これは教え下手で研究成果抜群という存在についてどのように考えるべきなのか、少し悩みます。研究だけすべきひと、教える仕事だけすべきひと、という分業もまたあるのかもしれませんが。優秀なプレイヤー必ずしも有能な監督に非ず、何てことを思い出しました。

・今いる大学の教授の何割か去らねばならないのか？

・教育に限らず人間社会は双方が基本！

・双方向の授業は、大学生が学ぶ事に興味を持つきっかけとして有効だと感じました。ただ、経験や知識とコミュニケーションを仕事に活かす社会人に対してはもっと有効ではないかと感じました。

質問3 第4回教育のデジタル化研究会の内容はいかがでしたか。

No	解答	人数	%
1	十分満足できた	9	32%
2	満足できた	17	61%
3	あまり満足できなかった	1	4%
4	満足できなかった	0	0%
5	どちらとも言えない	1	4%
合計		28	

